
[成果情報名] 「はかた地どり」の適正出荷技術の開発

[要約] 福岡県産ブランド鶏「はかた地どり」は、飼育期間を慣行の 80 日齢以上から地鶏 JAS の下限値である 75 日齢以上に短縮することで規格外鶏が減少する。また、生産性や肉質（旨み成分、機能性成分）および食味には影響しない。

[キーワード] はかた地どり、飼育期間、規格外鶏、肉質

[担当部署] 畜産部；中小家畜チーム

[連絡先] 092-925-5232

[対象項目] 鶏

[専門項目] 飼養管理

[成果分類] 技術改良

[背景・ねらい]

「はかた地どり」は雌種鶏の育種改良により発育が早期化し食鳥処理に不適な規格外鶏の割合が増加している。「はかた地どり」の生産を管理する福岡県はかた地どり推進協議会は、地鶏 JAS 規格の飼育日数の基準が 80 日齢以上から 75 日齢以上に緩和されたことから、規格外鶏の割合減少による商品化率の増加を目的に飼育期間の短縮を検討している。しかし、飼育期間の短縮は旨み成分の減少が危惧されており、さらに、「はかた地どり」の発育や肉質への影響は明らかにされていない。そこで、「はかた地どり」の飼育期間が 75 日齢になった場合の規格外鶏の発生状況や発育、肉質に及ぼす影響について明らかにし、適正出荷技術を開発する。

[成果の内容・特徴]

1. 飼育期間を 75 日に短縮しても、出荷体重は減少するが生産指数は同等であり、規格外鶏の発生割合は 28.7 ポイント減少する（表 1）。
2. 飼育期間を 75 日に短縮しても、旨み成分であるイノシン酸含有量や機能性成分であるイミダゾールジペプチド含有量は同等であり減少しない（図 1、図 2）。
3. 飼育期間を 75 日に短縮しても、慣行の食味と同等であり、日齢の違いによる影響はない（表 2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 「はかた地どり」の飼育期間を変更する際の技術資料とする。
2. 飼育期間を短縮することで、規格外鶏の発生割合が減少し商品化率の向上が期待できる。
3. 飼育期間を変更する場合、飼養管理マニュアルや「はかた地どり」生産規定の改訂が必要となる。

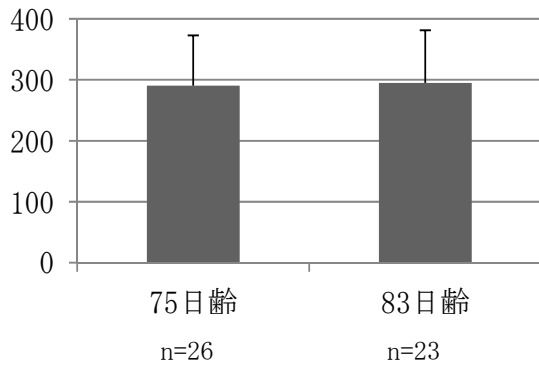
[具体的データ]

表1 「はかた地どり」の生産性成績（令和元年）

試験区	育成率 (%)	体重 ¹⁾ (kg)	飼料 要求率	生産 指数 ²⁾	規格外鶏の 発生割合 ³⁾ (%)	正肉 割合 ⁴⁾ (%)	腹腔内 脂肪割合 (%)
75日齢	99.8	3.19	2.42	175.4	9.3	37.9	2.7
83日齢(慣行)	99.8	3.64	2.50	175.3	38.0	38.4	3.2
有意差	NS	*	NS	NS	*	NS	NS

- 注) 1. 試験終了時の平均体重
 2. 生産指数 = (育成率 × 体重) ÷ (飼育日数 × 飼料要求率) × 100
 3. 規格外鶏：体重が4kg以上の個体（食鳥処理機の適応率が低下し、ムネ肉重が重くパッキングに不適）
 4. 正肉割合：と体重（脱毛後の体重；データ略）に対するモモ肉、ムネ肉重の割合
 5. *は5%水準で有意差あり、NSは $p > 0.1$ （t検定）
 6. 試験羽数：各試験区50羽 × 3反復（合計300羽）

mg/ムネ肉 100g



mg/ムネ肉 100g

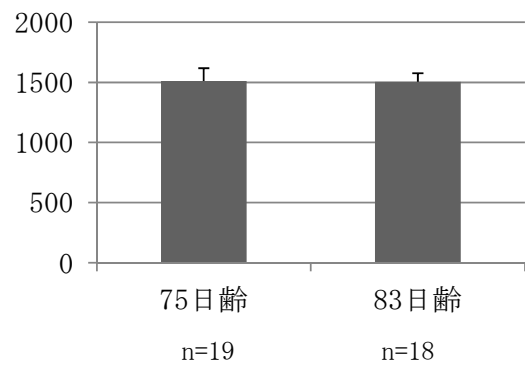


図1 イノシン酸含有量（令和元～3年） 図2 イミダゾールジペプチド含有量（令和元～3年）

表2 官能評価（総合評価）の成績（令和3年）

試験区	ムネ肉 (ソテー)	モモ肉 (ソテー)	スープ (ムネ・モモ)
75日齢	1.1 ± 1.3	1.2 ± 1.2	0.9 ± 1.5
83日齢(慣行)	0.8 ± 1.3	1.4 ± 1.2	1.3 ± 1.2
有意差	NS	NS	NS

- 注) 1. 試験サンプルは指定日に食鳥処理場でと鳥した市場流通品（75日は非流通）を供試した。サンプルは同形状とし、温度、時間を統一して調理し、3桁の乱数名を標記した。サンプルは被験者に無作為に配置し、サンプルを喫食するごとに、食感、味、香り、総合評価の4項目について、注) 2. の評点基準に基づき評価（評点法）した平均値を検定した（t検定：NS： $p > 0.1$ ）
 2. 評点基準（総合評価）：大変好まない(-3)、好まない(-2)、どちらかという和好まない(-1)、どちらかという好ましい(1)好ましい(2)、大変好ましい(3)：(表示値：平均値 ± 標準偏差)
 3. 被験者数：40名

[その他]

研究課題名：「はかた地どり」の早期出荷のための肉質改善技術の開発

予算区分：法人等受託（福岡県バイオ産業拠点推進会議）、経常

研究期間：令和3年度（令和元～3年）

研究担当者：平川達也、小高真紀子、伊地知 駿、徳永りさ、村上徹哉、福原絵里子